

大河ドラマ誘致推進漫画作品「ぼくらの義仲物語」より

# まんがでわかる 木曾義仲

## 第5回 義仲の最期

源頼朝よりともに先駆けて入京し、平家追討で名を上げた木曾義仲。しかし、京でうまく立ち回ることができず失脚し、追われる側になってしまいます。

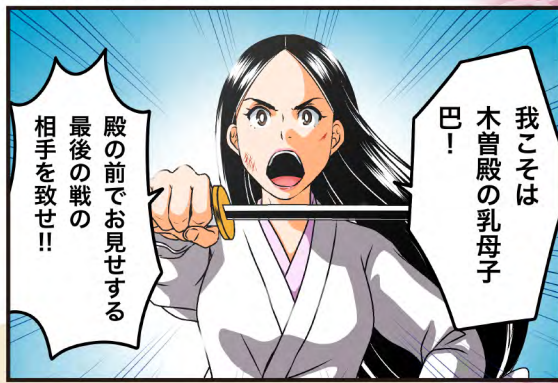


都で討ち死にせず  
ここまで来たのは  
お前と同じところで  
死のうと思っただからだ  
最後まで共に  
戦おうぞ

「宇治川の戦い」で敗北した義仲は敗走の途中で撃たれ、共にいた乳母子の今井兼平も後を追って自害したと言われている。



最後の戦いを前に義仲の命令で軍を離れた巴御前のその後は不明。行家を追う途中、義仲の死を知った樋口兼光は京に戻り、義仲の首の供を務めたあと斬首となった。



- あさひ 京から平家を追い出した義仲は、後白河法皇から「旭将軍」って称号もらってんって!
- だいき きっかけ! このまま時代の覇者に...はなれなかったんけ?
- あかり 朝廷の政治に口を出したり、京の治安を悪化させたり、いろいろあって後白河法皇との関係も悪くなったみたい。
- あさひ 頼朝との対立も激しくなって、最後には討たれてしまっやね...
- だいき でも! でも! 乳母子との絆が感じられる最期やよね!

### 朝廷との決裂と敗走

破竹の勢いで入京し、平家を都落ちさせた義仲。後白河法皇からその武功を認められますが、その後皇位継承問題をめぐって対立します。味方であったはずの義仲の叔父源行家、義仲のライバルである源頼朝・義経らを引き入れた後白河法皇と決別することを決意した義仲ですが、木曾の山中とは勝手が違う都での粗暴な振る舞いなども影響し、付き従う兵の数は激減していました。

1184(寿永3)年1月、義仲軍は源範頼・義経軍に攻め込まれた「宇治川の戦い」で敗北。義仲と乳母子である兼平らの命は散ることになりますが、その固い絆は最後まで失われることはありませんでした。

義仲たちの最期は平家物語でも描かれとる有名な話なんやって!



次回予告 だいき「もっと義仲たちのこと知りたい!」 あかり「いろんな逸話が残ってるみたいから今度はそれ調べようよ。」